

在校生からのメッセージ

1年生からの メッセージ

東京ドーム約8個分の広さの全生園の敷地内にポツンとある小さな学校に、私たち50回生は、この春入学しました。

多磨全生園附属看護学校は、全校で40名ほどのアットホームな学校で、先生と学生の距離が近く、質問や相談がしやすい雰囲気があります。

入学式後、先輩が心を込めて準備してくれた茶話会では、全生園の職員の皆様にも歓迎していただき、優しい空気に居心地の良さを感じました。園内の見学時にも職員の方々をはじめ、入所者の方々から暖かい励ましの言葉をかけていただきました。

学習内容は准看護学校より専門的で難しく不安になることもありますが、開放的なテラスで幅広い年齢層のクラスメートとわいわい話ながら昼食を摂った後には、また頑張ろうと、と前向きな気持ちになれます。

この学校では、入所者さまと直接ふれあいながら人権の尊さや命の重さをじっくりと学ぶことができます。春の陽ざしのように温かなまなざしと愛情を全身で吸収し、目標に向かって一歩また一歩と歩みを進めている私たちと一緒に学びませんか。



2年生からの メッセージ

今、2年生は小児看護学実習と老年看護学実習の真最中です。学ぶ内容は専門性が増し、解剖生理や病態も准看護学校と比べより詳しく学びます。そして看護過程に沿って情報収集しアセスメントし看護計画を立案します。難しく悩むことも多いですが、やりがいもあります。

少人数の学校なので先生にも質問しやすく、丁寧な指導をいただけます。授業の合間に外へ出て気分転換できるのも、全生園の緑多い環境ならではです。

1年次には七夕祭や楓祭、キャンドルサービスなどを経験し、ひとりひとりが個性を出し合って取り組んできました。入所者さんの笑顔と一緒に歌ってくださったり声をかけてくださることが励みになります。

教科書には数行しかないハンセン病についても深く学ぶことができます。ハンセン病の歴史を学ぶことは、自己や人間理解、社会について知る事へと繋がっていきます。

皆さんと全生園で学べる日を楽しみにしています。

